

丹後学園だより

令和8年9月10日 NO.12 丹後学園事務局 75-0126

学園教育目標

夢と希望と創造性あふれる豊かな心を持ち、
未来に向けて主体的に生きる子どもの育成

小学校、中学校 2学期が始まりました

この夏は、大変暑い日が続いています。8月末には石川県、富山県、そして、福井県では大雨による大きな被害が出ました。被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。

さて、小学校、中学校では、9月1日始業式を行い、2学期が始まりました。元気な子どもたちの声で満ち溢れていました。暑い日になり、丹後小学校では、オンラインで始業式を行いました。児童は、教室で式辞を聞きました。

【丹後小学校 伊藤校長式辞（一部抜粋）】

～目標に向かって汗を流し、大きな花を咲かせよう～

いよいよ1年の中で最も長く、そして大きな行事の詰まった2学期のスタートです。日々の学習に目的意識を持って取り組むこととともに、特に2学期は、「マラソン大会」と「学習発表会」という、丹後小学校の大きな二大行事に力を入れていきたいと考えています。

「マラソン大会」では、自分の心と体に向き合い、最後まであきらめずに走りぬく「強い心と体」を育ててほしいと思います。苦しいときにもう一步踏み出す力は、これからの人生を切り拓く大きな財産となります。「学習発表会」では、日頃の学びの成果を自分の言葉や表現で相手に伝える力を伸ばしましょう。友達と力を合わせ、一つのものを創り上げる喜びや達成感を味わうことで、丹後小一人ひとりの可能性がさらに大きく広がると信じています。失敗を恐れず、自分の目標に向かって何事にもチャレンジする姿を楽しみにしています。マラソン大会や学習発表会以外にも、読書感想文、絵画の制作、人権の取組なども成長のチャンスはたくさんあります。丹後学園としてもふれあい交流会やなかよし交流会が計画されています。6年生は部活動体験などの進学に向けた取組もスタートします。自分自身の成長を実感できる、充実した2学期にしましょう。

【丹後中学校 小谷校長式辞（一部抜粋）】

2学期は行事が目白押しであり、一人ひとりが「本気でチャレンジ」する絶好の機会です。先日、ノーベル賞を受賞された山中伸弥教授の著書『夢中が未来をつくる』で「VW」という教えに出会いました。これは「Vision」と「Work hard」の頭文字をとったものです。山中教授は、「単なる目標だけでなく『将来どんな自分になり、どう社会や誰かの役に立ちたいか』まで深く突き詰めた目標こそが本当のVisionであり、それが厳しい困難を乗り越えて努力し続ける糧になる」とアメリカ留学時代に恩師から学んだそうです。

皆さんもぜひ、この「VW」の精神を胸に「自分はどんな未来を描き、周りを笑顔にしたいか」を想像してみてください。そして、そのVisionに近づくために最も大切なのが「日々の授業」です。毎日の1時間1時間の積み重ねこそが、皆さんを大きく成長させます。普段から大事にしてきた、自ら学ぶ「主体性」、互いに高め合う「協働」、個性を活かす「挑戦」の3つを胸に、一人ひとりが自分のVisionに向かって大きく羽ばたく2学期にしましょう。



Vision（描く未来の姿）：「良い学校に入る」といった通過点の目標にとどまらず、「将来どんな自分になり、どう社会や周りの人を笑顔にしたいか」という根本的な目的を思い描くこと。

Work hard（たゆまぬ努力）：確固たるVisionに向かって、日々あきらめずに努力を重ねること。

丹後こども園 遊び＝学び

丹後学園夏季研修会で、こども園の園児が遊びから多くのことを学んでいる様子を参観しました。大変暑い日でしたので、外での遊びはやめて、室内での遊びを参観しました。

園児は、元気いっぱい教室等でやってみたい遊び等に熱中していました。遊び等の中から興味をもったことを調べたり、他の園児と協働して学んだりして、多くの知識や技能を得ています。また、人との関わり方なども日々学んでいます。



丹後学園 学園運営協議会を行いました

8月28日、丹後学園学園運営協議会を行いました。5月の初総会で学園の方針等について承認を受けました。今回は、こども園、小学校、中学校、そして、地域コーディネーターから1学期の取組や子どもたちの状況等について報告し、委員の皆様にご理解いただきました。今後、方針等に基づいて学園、こども園、小学校、中学校が教育活動を推進し、3学期の年度末総会でさらに充実するための協議をしていただく予定です。

その後、「主体性を大切にする育て方」として注目されている「子育て」について熟議を行いました。最初に、京都府丹後教育局 社会教育主事兼指導主事 谷口智規 様に課題提起をしていただき、2グループに分かれて協議を行いました。

熟議のテーマ

「子どもは『育てる』もの？ それとも、『育つ』もの？ そして、大人ができること」

【協議の概要】

- ・子どもが自分で判断・選択できる力を信じ、大人は過保護にならず決断をサポートする。失敗した際は大人がフォローや責任を担う姿勢が求められる。
- ・主体性や成長のペースは一人ひとり異なるため、個性に合わせた適切な声かけや、意欲を引き出すアドバイスが必要である。
- ・乳幼児期の遊びの環境づくりから、集団の中で切磋琢磨し伸びていける仕組み・機会（行事や体験など）の提供が重要である。
- ・親だけでなく、学校・地域社会が一体となって子どもを応援し、共に育む体制を作る。
- ・スポーツや学習指導等では、単なる精神論ではなく「根拠」や「具体的な方法」を示してサポートする。
- ・時代が変わっても「子どもは大人を見て育つ」本質は変わらない。大人は自らを見つめ直し、今の教育を知る必要がある。
- ・丹後の食文化や祭りのように、子どもと大人が共に楽しみ思い出に残る地域行事や伝統を将来へ残していくことが大切である。

【お知らせ】

町内一斉挨拶運動

10月13日(火)

丹後小学校 8:00~8:10 丹後中 7:50~8:20
また、ご自宅の周辺（通学路）から、子どもたちに声をかけていただいても結構です。

ご理解、ご協力、そして、ご参加をお願いします。